

みずほCustomer Desk Report 2024/06/18 号(As of 2024/06/17)

金融市場部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】				公示仲値	157.54
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	157.52	1.0703	168.52	1.2685	0.6612
SYD-NY High	157.95	1.0737	169.33	1.2709	0.6620
SYD-NY Low	157.15	1.0687	168.00	1.2661	0.6586
NY 5:00 PM	157.72	1.0735	169.30	1.2705	0.6613
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	38,778.10	▲188.94	日本2年債	0.2800%	▲0.0200%
NASDAQ	17,857.02	▲168.14	日本10年債	0.9300%	0.0000%
S&P	5,473.23	▲41.63	米国2年債	4.7666%	0.0621%
日経平均	38,102.44	▲712.12	米国5年債	4.3058%	0.0666%
TOPIX	2,700.01	▲46.60	米国10年債	4.2838%	0.0639%
シカゴ日経先物	38,470.00	▲85.00	独10年債	2.4120%	0.0555%
ロンドンFT	8,142.15	▲4.71	英10年債	4.1120%	0.0540%
DAX	18,068.21	▲66.19	豪10年債	4.1180%	▲0.0370%
ハンセン指数	17,936.12	▲5.66	USDJPY 1M Vol	7.95%	▲0.24%
上海総合	3,015.89	▲16.74	USDJPY 3M Vol	8.62%	▲0.12%
NY金	2,329.00	▲20.10	USDJPY 6M Vol	9.23%	▲0.10%
WTI	79.72	▲1.27	USDJPY 1M 25RR	▲1.17%	Yen Call Over
CRB指数	293.07	▲0.96	EURJPY 3M Vol	9.24%	▲0.02%
ドルインデックス	105.32	▲0.23	EURJPY 6M Vol	9.55%	0.04%

東京	東京時間のドル円は157.52レベルでオープン。日本株の大幅下落を背景にオープン直後のドル円相場は下押しとなったが、仲値にかけて徐々に値を戻し157円台半ばでレンジ推移。引けにかけてはクロス円の下落とともにドル円は一時157.15まで急落。その後すぐ値を戻し、結局157.34レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、157.34レベルでオープン。フランス政治不安が燃る中、仏野党党首の発言で若干ユーロが戻ったこともあってかクロス円主導で円安の展開。157.85まで上昇し同水準でNYに渡った。欧州株は引き続き上値重く、リスクセンチメントが大きく改善したわけではなかった模様。
ニューヨーク	フランスの政局不安がやや後退したことからユーロ円が上昇する動きにドル円の下値もサポートされ、157.85レベルでNYオープン。朝方は6月NY連銀製造業景気指数が予想を上回ったことから157.94まで戻す。その後一旦157.80まで下押しするものの、米金利が上昇する中157.95まで再び戻す。その後は新規材料に欠ける中、日銀の介入警戒もあり157.74まで反落する。午後は、ハーカー・フィッデルワース連銀総裁が「年内の2回利下げや利下げなしもありうる」との発言が伝わったが、為替市場の反応は限定的となり、狭いレンジでの推移が続き、157.72レベルでクロスした。一方、ユーロドルはルン氏が国政選挙で勝利した場合議論大統領と協力すると発言したことを手掛かりに買いが優勢となり1.0710レベルでNYオープン。朝方は狭いレンジでの推移が続くが、ルン氏の発言を受け買い戻しが徐々に強まる。午後もしり高での推移が続き、1.0737まで戻し、1.0735レベルでクロスした。

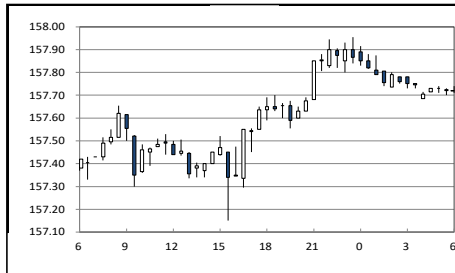
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
6月17日	11:00	中 鉱工業生産(前年比)	5月 5.6%	6.2%
	11:00	中 小売売上高(前年比)	5月 3.7%	3.0%
	21:30	米 NY連銀製造業景気指数	6月 -6	-10

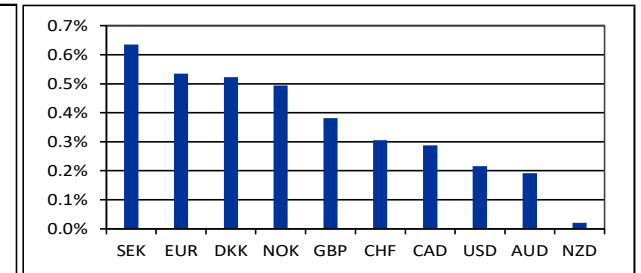
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
6月18日	13:30	豪 RBAキャッシュレート	18-Jun 4.35%	4.35%
	18:00	独 ZEW景気期待指数	6月 50.0	47.1
	18:00	欧 ZEW景気期待指数	6月 -	47.0
	18:00	欧 CPI(前年比)・確報	5月 2.6%	2.6%
	21:30	米 小売売上高(前月比) / 除自動車	5月 0.3%/0.2%	0.0%/0.2%
	22:15	米 鉱工業生産(前月比)	5月 0.3%	0.0%
	22:30	欧 デギンドスECB副総裁講演	-	-
6月19日	02:00	米 クラウーFRB理事講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	157.20-158.50	1.0690-1.0770	168.30-170.10

【マーケットインプレッション】

本日ドル円については、日中こそ上値重く推移も海外時間に再び上値を試す展開を想定。本日は午前中に植田総裁の半期に一度の議会証言「通貨及び金融の調節に関する報告書」の説明を予定。先週の会見や昨日衆院決算行政監視委のコメントもあり、目新しさには欠けるとみられるものの、賃金・物価の好循環を示しつつタカ派スタンスへの含みが改めて示されることでドル円は上値の重い展開となろう。その他日中は、日銀の国債買い入れオペやRBA会合結果公表を予定も、日銀国債買い入れは先週会合での声明通り今月の金額変化はなく、また、RBA会合においても政策金利の据え置きがコンセンサス。RBA声明文やブロック総裁会見でのタカ派シフトが警戒されるがドル円の反応は限定的となろう。他方、ロンドン時間には、独およびユーロ圏の6月ZEW景気期待指数の発表を予定。市場予想は前回からのやや改善をみており、先週後半売り込まれたユーロの反発がサポートされるか注目。クロス円の上昇にも留意したい。またNY時間には、米5月小売売上高、5月鉱工業生産、5月設備稼働率などの指標の他、クローグラーFRB理事はじめ多数のFRB高官発言を予定。先週FOMCを踏まえタカ派的コメントが続けば米金利がサポートされドル円は再び上値を窺う展開となろう。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。